

ゴスペル化学洗浄剤の取扱と作業上の注意事項

1. 洗浄剤の種類

弊社空調用化学洗浄剤は、洗浄対象物により酸性洗浄剤、アルカリ性洗浄剤とがあります。洗浄剤の種類は下記の通りです。

	酸性洗浄剤	シカ溶解促進剤	アルカリ性洗浄剤	中性洗浄剤
製品名	R, SR, PC-1 SP-1, PC-77 PC-88, PC-55 RZ-F, アロアクリーン-Q	添加剤-F	F-1, F-10 F-50 オイルミスト除去剤 マイルドフイクリーナー 他	モストール モストール35 モストールDW デスライム
主成分	塩酸, リン酸, スルファ ミン酸, 硫酸, 有機酸	フッ化物	苛性ソーダ ソーダ灰 アルカリ塩	過酸化水素
性質	強酸性 pH 1.0 以下	弱酸性	強アルカリ性 ～ 弱アルカリ性 pH 10～14	中性

洗浄剤の取扱上の注意事項

一般工業薬品は濃度の多少にかかわらず、人体に対して影響があります。体質により個人差があります。これらの薬品を主成分として製品化された洗浄剤についても充分取扱に注意が必要です。

基本的な注意事項

- 1) ゴム手袋の使用
- 2) 保護メガネの使用
- 3) マスクの使用

} は必ず守ってください。



2. 洗浄剤別の取扱注意事項

1) 酸性洗浄剤

①洗浄剤に触れた場合

皮膚に触れた場合は水で充分水洗又、石鹼を用いて水洗して下さい。作業衣に付着した場合、繊維の種類によっては脱色，変色する場合がありますので、付着した場合は充分水洗して下さい。

②洗浄剤を誤って飲んだ場合

直ちに多量の水を飲み、そして吐き出して下さい。この動作を数回繰り返し、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

③洗浄剤が目に入った場合

直ちに流水で水洗して下さい。水洗は最低15分以上行う事。その後、必ず医師の診断を受けて下さい。

2) アルカリ性洗浄剤（特に苛性ソーダ主成分の強アルカリ性の場合）

①洗浄剤に触れた場合

皮膚に触れた場合、手足がヌルヌルします。特に強アルカリの場合、皮膚の表面が溶ける場合があります。流水で充分水洗して下さい。作業衣に付着した場合、繊維の種類により脱色又は溶解する場合がありますので充分水洗を行って下さい。

②洗浄剤を誤って飲み込んだ場合

直ちに多量の水を飲みそして吐き出して下さい。この動作を数回繰り返し、必要に応じ医師の診断を受けて下さい。

③洗浄剤が目に入った場合

アルカリ性の薬品は、目に対して特に影響があります。作業の際、必ず保護メガネを着用して下さい。

万一目に入った場合、直ちに流水で15分以上水洗し、必ず医師の診断を受けて下さい。

苛性ソーダを主成分とするF-1，AC-14，ストリットーAを使用する場合、充分注意して下さい。

3) シリカ溶解促進剤（添加剤-F）

フッ化物はその性質上皮膚より浸透、爪，骨を侵します。添加剤-Fは酸性洗浄剤と併用して使用しますので、取扱上の注意は酸性洗浄剤の注意事項に準じて下さい。

特に「添加剤-F」を使用時はゴム手袋を使用して下さい。



4) 中性洗剤（特に過水系洗剤）

①洗剤に触れた場合

手足に触れた場合、一時的に皮膚が白色となり、やけど状態となりますが、30～60分で元に戻ります。触れた場合、水で充分水洗して下さい。

②洗剤を誤って飲んだ場合

直ちに多量の水を飲み、吐き出して下さい。この動作を数回繰り返し、必要に応じて医師の診断を受け下さい。

③洗剤が目に入った場合

直ちに流水で15分以上水洗して下さい。その後、必ず医師の診断を受けて下さい。
過水系洗剤を扱う場合、必ず手袋、保護メガネを使用して下さい。

3. 化学洗浄工事の作業上の注意事項

- 1) 作業開始前に、作業内容、手順等についてのミーティングを実施する。
- 2) 作業内容によって、安全靴、安全帽を着用する事。
- 3) 仮設配管（ビニールホース）は確実に取り付け、洗剤投入前に水のみでポンプ循環し、漏水テストを行う事。
- 4) 洗浄開始直後は、スケールと洗剤との化学反応で反応ガス（主に炭酸ガス）が発生します。反応が激しい場合がありますので、ホースの固定をしっかりと行い、むやみにサービスタンクに顔を近づけないで下さい。
- 5) 洗浄中は、ホースのはずれ、漏水等が発生する場合がありますので、ポンプ循環中は出来るだけ現場を離れない様にして下さい。現場を無人にする場合は、ポンプを停止する事。
- 6) 夜間ポンプ停止する場合、出口側バルブは開放しておく事。全部バルブを閉じますと、反応ガスにより内部圧力が高くなり、ホース接続部がはずれる場合があります。
- 7) 洗浄廃液の処理について
洗浄開始前に事前に客先と打ち合わせ、処理方法、排水場所等について必ず確認をとる事。

以上、洗剤の取扱および作業上の注意事項を守り、安全な洗浄工事を施工して頂く様、お願いいたします。